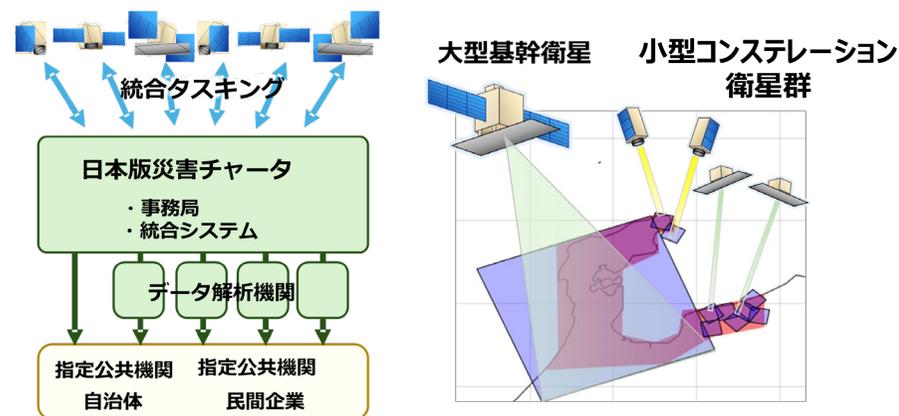


BRIDGE 日本版災害チャータ

- 日本版災害チャータとは、災害時の初動対応や復旧・復興での広域被災状況の把握に、衛星のリソースを結集させてデータを利活用する枠組み。
- 今年度は、その制度化・体制の構築の実現に向けて実証中。

法人・団体名	(国研)防災科学技術研究所、三菱電機(株)、衛星データサービス(株)、(一財)リモート・センシング技術センター、富士通(株)
サービス概要	<p>多種多様な衛星をワンストップで利用</p> <ul style="list-style-type: none"> 広域・高分解能・光学・レーダ衛星など多種・複数機の衛星により緊急観測を実施。 災害種別・発生時刻・規模・天候などに応じて最適な衛星での撮影、ユーザーズに沿った解析結果の提供。 24時間・365日の運用。 衛星毎に異なる衛星プロバイダとの契約や調整は、チャータ事務局が一括実施。(ユーザの手間削減)
主なユーザー	防災関連省庁、指定行政機関、指定公共機関、自治体、民間(電力、鉄道等)
活用される衛星	<p>①ALOS-2/4(日)</p> <p>②民間小型衛星:Synspective(日)、QPS研究所(日)、アクセルスペース(日)、Capella(米)、Satellogic(米)</p> <p>③民間商用衛星:SPOT、Pleiades(仏)CSK/CSG(伊)</p>
URL	https://www8.cao.go.jp/cstp/bridge/keikaku/09_bridge.pdf



1. BRIDGE 日本版災害チャータスキーム概念図

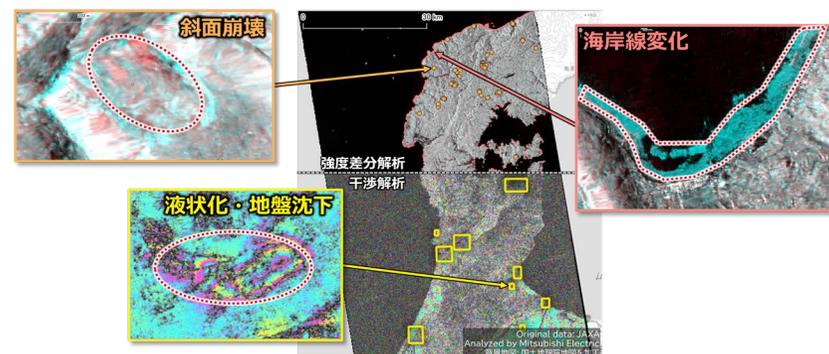


図2. 衛星データによる災害状況解析事例